



LEICA M11

LEICA M11 MONOCHROM

LEICA M11-P

LEICA M11-D

FIRMWARE UPDATE 2.5.1

NEW

- EU無線機器指令 (RED) 第3条 (3) に準拠
 - **WLANセキュリティの向上:**
カメラをリセットすると、ランダムに生成された新しいWLANパスワードが割り当てられるように
 - **初回起動時の保護:**
不正接続を防ぐため、PTPペアリングは接続ウィザードが完了後にのみ可能
 - **セキュアフォーマット:**
内蔵メモリーを完全に上書き (セキュア消去) できるように

不具合修正

- 十分に充電されているにもかかわらずバッテリー残量不足の警告が表示される不具合を修正

SDカードの使用に関する重要なお知らせ

現在UHS-Iカードを使用時、稀に技術的エラーが起こることがあります。これらのエラーを防ぐため、またカメラを最適な状態で使うためにUHS-IIカードの使用をお勧めします。

ファームウェア アップデート

ライカは、製品の機能の向上や不具合の改善に継続的に取り組んでいます。デジタルカメラでは多くの機能がファームウェアで制御されており、お買い上げの後でも機能を追加したり不具合を改善したりすることが可能です。本製品をユーザー登録された方には、最新ファームウェアのリリース情報を随時お届けいたします。

最新のファームウェアをダウンロードして、本製品をアップデートしてください。また、アプリ「Leica FOTOS」のユーザーは、ファームウェアのアップデート情報をアプリ内で自動的に受け取ることができます。

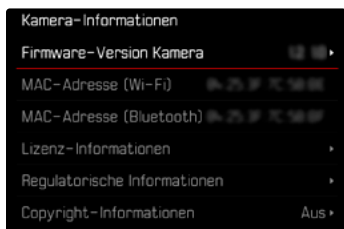
ファームウェアのアップデートは以下の方法で行うことができます。

- 案にアプリ「Leica FOTOS」から
- カメラメニューから

現在インストールされているファームウェアのバージョンを確認するには

→ メインメニューで**カメラ情報**を選択する。

- メニュー項目**カメラ ファームウェアVer**の隣に、バージョンが表示されます。



ファームウェアのアップデート情報、アップデートに伴う改善内容や追加機能、およびカスタマー登録について詳しくは、以下のサイトからご覧いただけます。

club.leica-camera.com

ファームウェアをアップデートする

ファームウェア アップデートを中断すると、カメラに重大かつ修復不可能な損傷を与える可能性があります。

ファームウェアのアップデート中には以下の事項を順守してください。

- カメラの電源を切らない。
- メモリーカードを取り出さない。
- バッテリーを取り出さない。
- レンズを取り外さない。

メモ

- バッテリー残量が十分でない場合は、警告メッセージがモニターに表示されます。バッテリーを充電してからファームウェアをアップデートしてください。
- **カメラ情報**のサブメニューにて国別に承認登録マークや番号を確認することができます。

使用前の準備

- バッテリーを満充電し、カメラに入れる。
- メモリーカードに他のファームウェアが保存されている場合は、必要のないものを消去する。
 - メモリカードに保存されているすべての画像をバックアップしてから、カメラでフォーマットすることをお勧めします。
(注意: データ消失! フォーマットするとすべてのデータが削除されます。元に戻すことはできませんのでお気をつけください。)
 - 内蔵メモリーのデータも事前にバックアップしてください。
- 最新のファームウェアをダウンロードする。
- メモリーカードに保存する。
 - ファームウェアファイルは必ずメモリーカード最上位階層に保存してください。下位階層では読み込みができません。
- メモリーカードをカメラに挿入する。
- カメラの電源を入れる。

カメラのファームウェアをアップデートする

M11 / M11-P / M11 モノクローム

- 準備する。
- メインメニューでカメラ情報を選択する。
- カメラ ファームウェアVerを選択する。
- ファームウェア アップデートを選択する。
 - アップデートに関する情報とメッセージが表示されます。
- バージョン情報を確認する。
- はいを選択する。
 - 「プロフィール情報をSDカードに記録しますか?」という、確認メッセージが表示されます。
- はいまたはいいえを選択する。
 - アップデートが自動的に開始します。
 - 処理中は、LEDランプ（下）が点滅します。
 - 正常に完了すると、終了のメッセージが表示され自動的にカメラが再起動します。

メモ

- アップデート後にカメラを初期設定に戻すことをお勧めします。
- 初期設定に戻した後は、日付、時刻、言語を再設定する必要があります。確認メッセージが表示されます。

カメラのファームウェアをアップデートする

M11-D

- 準備する。
- ファンクションボタンを押したまま、カメラの電源を入れる。
 - アップデート中はがLEDランプとセルフタイマーランプは赤色に点灯し、ファインダーにはUPが表示されます。

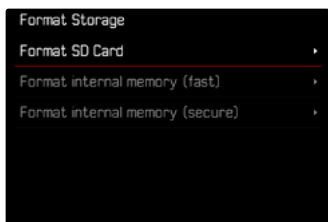
ストレージをフォーマット (初期化) する

また撮影時の残留画像 (撮影一時情報) がストレージの容量を占めていることがあるため、時々フォーマットすることをおすすめします。カメラに挿入されているSDカード及び内蔵メモリーを別々にフォーマットすることができます。重要:

- フォーマット中は本機の電源を切らないでください。
- フォーマットするとすべてのデータが削除されます。元に戻すことはできませんのでお気を付けください。フォーマットすると、マークのついた画像も削除されます。
- データの消失を防ぐため、撮影した画像を外付けハードディスクやコンピューターに定期的に保存してください。

内蔵メモリーを確実にフォーマットする (SECURE ERASE)

内蔵メモリーをフォーマットすることで、長期間蓄積された残存データを削除したり、素早くメモリーを空にしたりすることができます。



- メインメニューで**ストレージ管理**を選択する。
- **メモリーフォーマット**を選択する。
- **内蔵メモリーをフォーマット (セキュア)**を選択する。
- 確定する。

メモ

- ・ クイックフォーマットでは既存ファイルに直接アクセスできなくなるのみです。そのため適切なソフトウェアを使用すると特定の状況下でデータを再現することが可能になります。新しい画像によって上書きされた画像は完全に消去されます。すべての画像、個人データ等を完全かつ復元不可能に削除するには、**内蔵メモリーをフォーマット (セキュア)**を選択してください。このプロセスには最長75分かかります。
- ・ パソコンなど他の機器でフォーマットしたメモリーカードを使用する場合は、必ず本機でフォーマットしてから使用してください。
- ・ ライカM11-Dではセキュアフォーマットはライカ専用アプリ「Leica FOTOS」から行えます。